

## メロドラマの世界—その歴史的意義と展望

主催：日本映像学会関西支部・京都府・京都府京都文化博物館

日本映像学会関西支部恒例の『夏期映画ゼミナール』が本年は装いも新たに京都府京都文化博物館での開催と相成りました。

9月5日(金)

午後1:30～

開会の辞

午後1:40～午後3:09 『**愛染かつら**』 監督：野村浩将、出演：田中絹代、上原謙 1938年 89分 松竹(大船)

午後3:20～午後4:42 『**濡れた二人**』 監督：増村保造、出演：若尾文子、北大路欣也 1968年 82分 大映(東京)

午後5:00～午後6:46 『**金色夜叉**』 監督：野村芳亭、出演：田中絹代、林長二郎 1932年 ※106分 松竹(蒲田)

(※16駒/秒回転)

9月6日(土)

午後1:30～午後2:50 『**命美わし**』 監督：大庭秀雄、出演：笠智衆、杉村春子 1951年 80分 松竹(大船)

午後3:00～午後4:45 『**古都**』 監督：中村登、出演：岩下志麻、宮口精二 1963年 105分 松竹(大船)

午後5:00～午後6:51 『**また逢う日まで**』 監督：今井正、出演：岡田英次、久我美子 1950年 111分 東宝

9月7日(日)

午後1:30～午後3:34 『**暖流**』 監督：吉村公三郎、出演：佐分利信、高峰美枝子 1939年 124分 松竹(大船)

午後4:00～午後6:30 シンポジウム

パネリスト：西岡琢也(脚本家、現在、日本シナリオ作家協会理事長、大阪芸術大学映像学科教授、主な脚本作品

『ガキ帝国』、『TATTOO<刺青>あり』、『沈まぬ太陽』、『太平洋の奇跡』、『はやぶさ-遙かなる帰還』など多数。)

パネリスト：石塚洋史(日本映像学会会員、近畿大学非常勤講師)

パネリスト：中村聡史(日本映像学会会員、関西学院大学/帝塚山学院大学非常勤講師)

司会進行：豊原正智(日本映像学会会員、大阪芸術大学教授)

午後6:30～午後6:40

閉会の辞

会場：京都市中京区三条高倉町 京都文化博物館

TEL075(222)0888 FAX075(222)0889 <http://www.bunpaku.or.jp>

[交通機関]○地下鉄「烏丸御池駅」下車、5番出口から三条通を東へ徒歩約3分

○阪急「烏丸駅」下車、16番出口から高倉通を北へ徒歩約7分

○京阪「三条駅」下車、6番出口から三条通を西へ徒歩約15分

○JR・近鉄「京都駅」から地下鉄へ

○市バス「堺町御池」下車、徒歩約2分

参加費：学会会員、一般、学生ともに1日 500円

(※当日券でその日限り出入り自由)

入館時、1階にて入場券(500円)をお買い求めの上、3階フィルムシアターへお越しください。

問合せ先：〒585-8555 大阪府南河内郡河南町東山 469

大阪芸術大学映像学科内 日本映像学会関西支部事務局(遠藤 宛)

TEL 0721(93)3781 内線:3327 FAX 0721(93)6396

Mail: [eizou@osaka-geidai.ac.jp](mailto:eizou@osaka-geidai.ac.jp) <http://jasias.jp> (日本映像学会 HP)

